

①学習課題（小学校6年生）



【国語】

<内容>

◆「帰り道(P17～P33)」に取り組みます。

- ①P18～P29を通して読み、物語の登場人物や場面の構成を確認します。
- ②以下の場面について、「律」と「周也」の視点から、ものの見方や考え方を想像し、お家の人に伝えたり取組シートにまとめたりしてみましょう。

※視点…物語などで、語り手などがその作品をどこから見て語っているかということ
(P309に言葉の意味が詳しく掲載されています。)

- (1) 周也が一人でしゃべり続けているとき
- (2) 昼休みの出来事
- (3) 二人ともだまりこんでしまったとき
- (4) 天気雨に降られたとき
- (5) 雨が上がり、二人で歩き始めたとき

(1)～(5)の場面で、「律」や「周也」の様子や会話などから、思っていることや考えていること、相手へ感じていること、ものの見方や考え方などを想像していきましょう。

◆「帰り道」「地域の施設を活用しよう」で学習する予定の新出漢字を取組シートに練習します。(読み方や書き順などは、P297～P298に掲載されています。)

<保護者による関わり方のポイント>

- ・この单元では、視点のちがいに着目して読み、感想をまとめていく学習をします。今週学習する部分は、学習の始まりの部分です。1場面は「律」の視点、2場面は「周也」の視点から同じ出来事が書かれています。お子さんによっては、このような構成の物語を初めて読むかもしれません。一度読んだ後に、「どんなお話だったかな。」とお子さんに尋ね、物語の構成を一緒に確認してあげてください。
- ・上記の(1)～(5)の内容が1・2場面のどの部分に書かれているか見付けて読むように声掛けをお願いします。見付けた部分からお子さんが想像したことを聞いてあげたり、ノートにまとめたりする様子を見守ってあげてください。お子さんが文章から言葉を基に考えたことを話したり書いたりしている時は、大いに認めてあげてください。
- ・漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように促すことも有効です。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

【社会】

<内容>

- ◆「わたしたちの暮らしと日本国憲法」（教科書P8～P9）をもとに、自分たちの身の回りにある「法やきまり」にはどんなものがあるかを調べ、取組シートにまとめます。
- ・どうして、法やきまりが必要なのか、自分たちの普段の生活をもとに、自分の考えを取組シートに表しましょう。
- ・「日本国憲法」とはどのようなものか調べ、取組シートにまとめましょう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・日常生活の中にあるルールについて「どうして、法やきまりが必要なのかな」と親子で一緒に考えるなど、お子さんの「これもそうかな?」「もし、なかったら?」などという気づきを認め、励ましてください。
- ・「日本国憲法」の基本的な考え方と自分たちの暮らしとの関連について、親子で話し合ってみることもよい学習機会となります。

【算数】

<内容> 6年生

①「文字を使った式」（教科書P10～11）

- (1) 教科書10ページの「不思議な計算」のところを見て、自分の誕生日の場合はどうなるのか考えて、取組シートに自分の考えを書いてみよう。
- (2) 家族の誕生日についても調べ、どうして同じになるのか家族と話し合ってみよう。もし、理由が説明できるようなら、家族に分かりやすく話してみよう。



どうして、計算の答えと誕生日の数字の並びが同じになるのかな？



答えと誕生日の数字の並び方が同じになる理由を伝え合ってみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

- ①(1)→家族の場合についても考えさせると、不思議な計算の規則性が、少しずつ見えてくるかもしれません。
- (2)→規則性について、家族で議論してみたり子どもの説明をしっかりと聞いてあげたりしてください。

※6年生では、特に筋道立てて考える力を育むことが、大切になります。

「なぜ、そうなるのか。」「もし～なら、どうなるのか。」といった話合いを通じて、小学校の最高学年に成長したお子さんのすばらしさを感じてほしいと思います。

【理科】

<内容>

◆教科書「地球と私たちの暮らし」（P7～P11）を読み、地球と私たちの暮らしとの関係を考えましょう。

- ①人は、地球からどのようなめぐみを受けているか、「植物のめぐみ」「水のめぐみ」「大地のめぐみ」について、例をあげて取組シートに書きます。
- ②人の暮らしが、生き物のすむ環境を変えていることについて、例をあげて取組シートに書きます。

<保護者による関わり方のポイント>

- ・生活場面を思い出し、「植物」「水」「大地」が人の暮らしとつながっているか考えるよう促してください。
- ・環境破壊等、身近な話題から、人の暮らしが、環境に与える影響について考えるよう促してください。